

第 404 回
日本泌尿器科学会新潟地方会
《 プログラム・抄録 》

日 時：令和 5 年 3 月 4 日（土）14 時 00 分～16 時 20 分
会 場：ホテルオークラ新潟 4 階『コンチネンタルルーム』
新潟市中央区川端町 6-53
TEL：025-224-6111

次回 第 405 回 新潟地方会
（甲信越合同地方会） 予告
日時：令和 4 年 6 月 10 日（土）
会場：（長岡市 予定）
演題申込期限：令和 5 年 5 月 12 日（金曜日）

※すべて PC のみの発表とさせていただきます
※一般口演時間は、7 分、討論 3 分（時間厳守）

日本泌尿器科学会会員証を必ずご持参下さい

〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1-757
新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野(泌尿器科学教室)内
日本泌尿器科学会新潟地方会
TEL：025 (227) 2289/FAX：025 (227) 0784
会長 富田 善彦

14:00~14:05

開会の辞

日本泌尿器科学会新潟地方会会長

富田 善彦

14:05~14:45

座長 結城 恵里

1. 両側腹直筋まで炎症が波及した尿膜管膿瘍の1例

柏崎総合医療センター 泌尿器科
石田恭平 羽入修吾

27歳男性。X年12月22日から臍部の腫脹、滲出液を認め24日に前医を受診した。臍部尾側の皮膚切開、抗菌薬治療を行なわれたが改善なく、38度台の発熱、腹痛も認めるようになりX+1年1月4日当院皮膚科受診した。造影CTで両側腹直筋にまで至る尿膜管膿瘍を認め当科紹介となった。同日緊急入院、抗菌薬治療、ドレナージ術を施行し、術後経過良好で10日目に退院した。

2. 尿路上皮癌に対する免疫組織化学に基づく分子サブタイプの病理組織学的評価の取り組み

新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 泌尿器科¹⁾、病理診断科²⁾
中村涼太¹⁾、長谷川剛²⁾、原昇¹⁾、西山勉¹⁾

尿路上皮癌に対する病理組織学的評価に免疫組織化学に基づく分子サブタイプ化の取り組みをおこなっている。腎盂尿管尿路上皮癌の評価については第110回日本泌尿器科学会総会において報告予定であるが、当院の尿路上皮癌に対する病理組織学的評価に免疫組織化学に基づく分子サブタイプ化の取り組みの概略を紹介する。

3. 当院におけるエンフォルトマブ・ベドチンの使用経験

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野
村田 雅樹、風間 明、星野 さや香、池田 正博、武田 啓介、丸山 亮、齋藤 和英、富田 善彦

エンフォルトマブ・ベドチンは本邦において2021年9月に製造販売承認を取得し、局所進行性又は転移性尿路上皮癌に対する治療選択肢が広がった。当院では7例に投与し、うち膀胱癌が1例、腎盂尿管癌が6例であった。年齢の中央値は71歳(55-79)、最良総合効果はPR4例、PD1例、未評価2例で、奏功期間は最長で9か月であった。しかしながらGrade3の有害事象を3例で認めており、有効性が期待される一方で有害事象に対するマネジメントも重要と考えられた。

4. オラパリブが奏功した去勢抵抗性前立腺癌の一例

県立中央病院 泌尿器科¹⁾、病理診断科²⁾、佐渡総合病院 泌尿器科³⁾
乾幸平¹⁾、山口峻介¹⁾、山崎裕幸³⁾、水澤隆樹¹⁾、酒井剛²⁾、片桐明善¹⁾

症例は74歳男性。去勢抵抗性前立腺癌に対して新規ホルモン薬や化学療法の逐次療法を施行したが、遠隔転移(腸骨、恥骨、骨盤内リンパ節、肝転移)が出現し、現病は進行した。また前立腺右葉~膀胱右壁にかけて粗大な局所浸潤巣が出現したため、同部位を経尿道的切除し、検体を遺伝子検査(F-1 CDx)した。その結果、BRCA2遺伝子に変異異常を認めたため、オラパリブの投与を開始した。開始後からPSAは著明に低下し、転移巣も大幅に縮小を認めている。当院での遺伝子検査の現状など含め、若干の文献的考察を加え報告する。

14 : 45～15 : 25

座長 安藤 嵩

5. 異時性両側性精巣セミノーマを呈したダウン症の一例

新潟市民病院 泌尿器科
笠原 隆, 今井智之, 川上芳明

ダウン症で、高度知能低下がある男性。29歳時に、腹腔内停留精巣に由来したセミノーマと診断され、全身化学療法を受けた。15年後、対側精巣にセミノーマを発症した。ダウン症は精巣胚細胞腫瘍のリスク因子であり、また知能障害のため症状を適切に伝えられない可能性や、心機能障害など様々な併存疾患のため治療関連合併症リスクが高いことに、十分留意すべきである。

6. 経尿道的前立腺吊り上げ術の治療経験

新潟臨港病院 泌尿器科
糸井俊之

昨年4月に前立腺肥大症に対しUroLiftシステムを用いた経尿道的前立腺吊り上げ術が保険適応となった。当院ではこれまで3症例に本術式を施行している。手術手技、治療経過などについて報告する。

7. 腎部分切除術後の難治性尿漏の一例

新潟県立中央病院 泌尿器科
片桐明善、乾幸平、山口峻介、水澤隆樹

腎癌に対して腎部分切除術を施行後に腎周囲膿瘍を併発し、その後に診断された難治性の尿瘻の一例を経験した。ドレナージや尿管ステントなどの保存的治療では改善せず、上腎杯漏斗部損傷も疑われ、最終的には初回手術から約3ヶ月後に瘻孔部を含む上極の腎部分切除術にて治癒に至った。腎部分切除術後の尿漏につき文献的考察も含め報告する。

8. 新規ホルモン剤の適応を間違っていないか ～保険診療から

新潟市民病院
今井智之

自由診療ではなく保健医療をする限り、常に規則がついてまわる。薬剤を処方するにあたっては効能効果を守る必要があるが、近年、「4. 効能または効果」のみではなく、「5. 関連する注意」に配慮し「臨床成績」の内容を熟読して適応患者を選択する必要があるが出てきた。ARATの効能効果（適応）の一つである「遠隔転移を有する前立腺癌」の裏に細かい条件が隠されている。ほか、保険審査上問題になっている項目について述べる。

《 休 憩 15 : 25～15 : 50 》

15 : 50～16 : 20 日本泌尿器科学会新潟地方会総会

研究会参加者健康チェック票

研究会名：第404回日本泌尿器科学会新潟地方会

日 時：2023年3月4日（土）

所 属：_____

氏 名：_____

自宅電話番号：_____

チェック日	体温 (°C)	症 状※								
	朝	咳	のどの 痛み	鼻水・ 鼻詰り	頭痛	下痢・ 腹痛	強い だるさ	息苦しさ	その他	左記 すべて無
1日目	2月19日									
2日目	2月20日									
3日目	2月21日									
4日目	2月22日									
5日目	2月23日									
6日目	2月24日									
7日目	2月25日									
8日目	2月26日									
9日目	2月27日									
10日目	2月28日									
11日目	3月1日									
12日目	3月2日									
13日目	3月3日									
14日目	3月4日									

自ら行った対処 { _____ }

(例) ○月○日医療機関を受診した, ○月○日に保健所に連絡した, ○月○日市販薬を内服した, などを

※ 症状の各項目に, ある場合は○, すべて該当しない場合には「左記すべて無」に○を付けてください。

第37回新潟泌尿器腫瘍セミナー

日時

2023年3月4日（土）16時50分～17時50分

会場

ホテルオークラ新潟 4F『コンチネンタル』
新潟市中央区川端町6-53 TEL:025-224-6111

座
長

富田 善彦 先生

新潟大学特命理事 医歯学総合病院長（泌尿器科教授）

演
者

金山 博臣 先生

徳島大学大学院 医歯薬学研究部 泌尿器科学分野 教授

腎細胞癌の薬物療法と
泌尿器科ロボット支援手術

- ・当日は軽食をご用意しております。
- ・参加費として1,000円徴収させていただきます
- ・本セミナーは日本泌尿器科学会専門医制度（1単位）が認められております
- ・本セミナーは地方会開催期間中のため、一般参加者の交通手配は行えません。ご了承ください。

共催 新潟泌尿器腫瘍セミナー

小野薬品工業株式会社 ブリストル・マイヤーズ スクイブ 株式会社